

東海土器

五十三次展

日本橋

久ヶ原遺跡

登呂遺跡

品川
神奈川
程ヶ谷
藤原
平磯
大田
小箱根

府中

上藪田モミヅ遺跡

十二所遺跡

伴勢遺跡

朝日遺跡

弥生土器



三条大橋

東へ
西へ

石四桑
庄薬日桑
野師市名
大草石水土坂
津津部口山下園山

池鳴り園藤赤御吉二須新舞浜見袋掛日金鳥藤岡鞠
宮海鉾崎川坂油田川賀屋及松付井川坂谷田枝部子



2017 9/30(土) → 11/26(日)

企画展 東海土器五十三次展

登呂博物館2階 特別・企画展示室

開館時間 9:00 - 16:30 休館日 月曜日・祝日の翌日

観覧料 一般 300円 高大生 200円 小中学生 50円

TEL 054-285-0476

<http://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



静岡市立登呂博物館

- 表紙デザイン：五十三次名所図会・原宿（静岡市蔵）より
 1: 久々茶道跡出土壺形土器（大田巴土郷土博物館蔵）
 2: 登呂道跡出土壺形土器（登呂博物館蔵）
 3: 上野田モミダ道跡出土壺形土器（藤枝市教育委員会蔵）
 4: 十二所道跡出土壺形土器（袋井市教育委員会蔵）
 5: 朝日道跡出土壺形土器（愛知県教育委員会蔵）
 6: 伊勢道跡出土壺形土器（守山市教育委員会蔵）

西

心から

東へ

海地域は、はるか昔から、現代に至るまで随一の交通の要所として栄えた地域です。さまざまな人々が行き交うこの地域では、交流によって形成されたさまざまな文化をうかがい知ることができます。

海道に沿って、各地域の弥生時代の土器を見ていきましよう。一見よく似た格好にも思えますが、さまざまな違いや共通点が、それぞれの地域に根差しているのです。

今回の展示は各地域の弥生土器が一堂に会して並ぶ、又とない機会と言えるものです。

かつて江戸時代の五街道の一つ「東海道五十三次」を描いた浮世絵も同時展示。二つの時代の東海道をとお楽しみ下さい。



五十三次名所図会（江尻宿）（静岡市蔵）



上野田モミダ道跡出土壺形土器（藤枝市教育委員会提供）

関連事業

一、講演会「弥生土器 東へ西へ」

日時 一月五日（日） 一四時～一六時
 会場 登呂博物館一階 登呂交流ホール
 講師 篠原和夫 静岡大学教授
 料金 一〇〇円

*一月一日（日）より登呂博物館（〇五四―二八五―〇四七六）にて受付開始
 定員 六〇名（要予約・先着順）
 備考 講演後、講師による展示解説あり
 （観覧料別料金）

二、弥生土器づくり

日程 一月二一日（土）、二二日（日）、
 一月二五日（土） 連続講座
 会場 登呂博物館一階 登呂交流ホール他
 講師 大川洪文 一 弥生人体験クラブ
 料金 三〇〇円

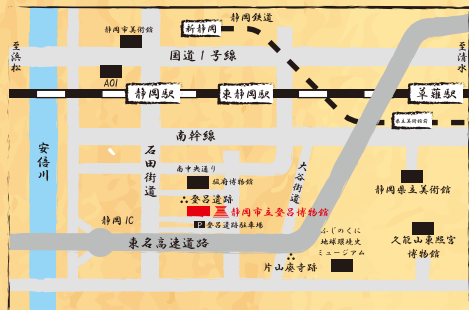
*一月一日（日）より登呂博物館（〇五四―二八五―〇四七六）にて受付開始
 定員 小学生以上二〇人（要予約・先着順）
 小学生三年以下は保護者同伴のこと

三、展示解説

日時 九月三〇日（土）、一〇月二二日（日）、
 一月一一日（土）、二六日（日）
 各日 一四時～一六時より開始

会場 登呂博物館二階 特別・企画展示室
 料金 無料（要観覧料）

アクセス



《バス》JR静岡駅南口から約10分
 （千てっごうバスライン「登呂道跡」行きバス終点下車）
 《車》東名静岡ICから約10分 道跡南側に有料駐車場有

観覧料

隣接の芥沢絵介美術館とのオトクを共通券も販売中！

区分	個人	団体	回数	共通	共通団体
一般	300	220	1,380	570	460
高校生 大学生	200	150	920	360	280
小学生 中学生	50	40	230	120	90

- ・特別展開催期は別料金
- ・静岡市内在住の70歳以上の方、小中学生（通学含む）は無料
- ・団体は30名以上の団体
- ・未就学児無料
- ・回数券は5回分
- ・障害者手帳等の提示により、本人及び同伴者1名様は無料

◆開館時間 9:00 - 16:30

◆休館日 月曜日（祝日を除く）、
 祝日の翌日、年末年始
*臨時休館・閉館あり



TEL 422-8033 FAX 054-285-0476
 静岡県静岡市駿河区登呂五丁目10番5号
<http://www.shizuoka-toromuseum.jp/>

登呂道跡出土壺形土器（登呂博物館蔵）

